

平成 29 年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：河内長野金剛霊殿

指定管理者名：富士建設工業

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	B	B
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	B	B
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	S	S
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	S	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	B	B

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	0	0	0	0	
	自主事業収入	140,000	76,682	63,318	72,922	
	物品販売収入	0	0	0	0	
	手数料収入	0	0	0	0	
	指定管理料	55,670,000	55,670,000	0	31,298,000	
	その他収入	0	0	0	0	
	収入総額	55,810,000	55,746,682	63,318	31,370,922	
支出	人件費	17,928,000	19,912,623	(1,984,623)	9,252,347	
	事務費	1,535,400	941,641	593,759	1,365,314	
	管理費	14,931,600	12,587,950	2,343,650	6,190,260	
	自主事業経費	140,000	36,147	103,853	749,837	
	光熱水費	20,376,000	14,545,020	5,830,980	6,736,114	
	リース料	899,000	898,776	224	2,664,198	
	その他	0	5,830,980	(5,830,980)	4,226,886	光熱水費精算 5,830,980円を市へ戻入
	支出総額	55,810,000	54,753,137	1,056,863	31,184,956	0
収支差額	0	993,545	(993,545)	185,966	0	

3. 総合評価

自己評価

本年度4月1日から最大使用件数が6件から8件になり斎場利用の幅が広がりました。件数の増加に伴い受け入れ体制を整え対応いたしました。結果として受け入れの遅れや大きな混乱もなく対応出来たと思います。また火葬炉においても近隣環境に配慮しながらも事故なく稼働出来たと思います。施設に関してはお別れ室等に追加備品を購入設置し利用していただきました。施設利用アンケート調査では概ね好評の評価をいただきましたが今後もアンケート内容を的確に分析し利用者のニーズに応えて参りたいと思います。施設運営も年数を重ね益々安定した運営に心がけたいと思っております。

市評価

平成29年度より、火葬室の1日の最大使用可能件数を6件から8件に増加させたが、適切な受入体制を構築し、火葬受入に際して遅滞や大きな混乱を発生させずに対応している。

また、利用者に対するアンケート調査や事業者との連絡協議会をはじめとし、日頃よりニーズの把握に努めており、管理運営に反映しているものと認められる。特に平成29年度においては、霊安室の一般使用を可能にするに当たり、市と連携を図りながら必要な体制の整備を行うとともに、自主事業として葬祭事業者が市営斎場を利用した葬儀プランを指定管理者ホームページにおいて掲載できるようにした点は評価できる。

その他、火葬業務、使用料徴収業務、施設維持管理等においても支障なく遂行しているものと認められる。

以上のことより、概ね事業計画に沿った管理運営がなされており、特に利用者ニーズの把握等に関しては、指定管理者ならではの細やかな配慮と迅速な対応が行われているものと認められる。